

予 算 要 求 資 料

令和7年度3月補正予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 文化による共生・共創社会推進事業費補助金（R8分）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部 文化創造課 文化振興係 電話番号：058-272-1111（内3119）

E-mail : c11146@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 9,327千円 (現計予算額： 0千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	分担金負担金	使用料手数料	財産収入	寄附金	その他	県債	一般財源
現計予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補正要求額	9,327	4,663	0	0	0	0	0	0	4,664
決定額	6,027	3,013	0	0	0	0	0	0	3,014

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

文化による共生・共創社会の推進に当たっては、性別、年齢、障がいの有無等にかかわらず、誰もが文化芸術活動に参画し、文化芸術の価値を享受できる環境を整備することが重要となるため、青少年による多様な文化活動や地域芸能の成果発表の機会を提供する「みらいフェスぎふ2026」や、障がいのある人と文化団体が協働で舞台を創る「県民参加型舞台」、若手アーティストや障がいのある方の芸術文化活動の展示・表現する場を提供する「ギャラリー展示・運営事業」を開催し、「共生・共創社会」の実現を目指す。

(2) 事業内容

1. 青少年文化振興事業

音楽活動・舞台芸術をはじめとする様々な文化活動や芸能継承に取り組む青少年に、成果発表の機会を提供する。

2. 障がい者文化振興事業

バリアフリー演劇や公募型ライブを通じて、年齢、性別、障がいの有無などにかかわらず、誰もが多彩な文化芸術に親しみ、その魅力を共有できる、「共生・共創社会」の実現を目指す。

3. ギャラリー展示・運営事業

芸術文化活動に取り組む「若手アーティスト」や「障がいのある方」を対象に、活動内容を展示・表現する場（ギャラリー）を提供し、芸術文化活動のさらなる裾野の拡大を目指す。

(3) 県負担・補助率の考え方

本県の共生・共創社会の推進を図る重要な事業であり、県負担とする。
(地域未来交付金)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	2,557	青少年文化振興事業
補助金	3,470	障がい者文化振興事業
補助金	3,300	ギャラリー展示・運営事業
合計	9,327	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 「清流の国ぎふ」創生総合戦略 施策編
 - 3 地域にあふれる魅力と活力づくり
 - ① 「清流の国ぎふ」文化・芸術の創造・伝承・発信
- 第5次岐阜県青少年健全育成計画
 - 2 自己実現のための支援
 - (1) 優れた個性を伸ばす取組の推進
 - (2) 文化・芸術・スポーツ活動の推進
- 第4期岐阜県障がい者総合支援プラン
 - 5 障がい者の芸術文化活動の充実

(2) 事業主体及びその妥当性

本補助金を受けて（公財）岐阜県教育文化財団が事業を実施する。
財団は、人材の養成と県民文化・地域文化の創造・発展ならびに芸術文化・伝統文化・生活文化等の保存・継承を目的として活動しており、事業主体として妥当である。

県単独補助金事業評価調書

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	文化による共生・共創社会推進事業費補助金
補助事業者（団体）	<p>(公財) 岐阜県教育文化財団 (理由) 財団は、人材の養成や県民文化・地域文化の創造・発展ならびに芸術文化・伝統文化・生活文化等の保存・継承を目的として活動しており、事業主体として妥当である。</p>
補助事業の概要	<p>(目的) 文化による共生・共創社会の推進 (内容) 文化公演、芸術文化活動の展示等を行う。</p>
補助率・補助単価等	<p>その他 (全額県負担) (内容) 県10／10 (理由) 県の文化による共生・共創社会の推進のために実施するものであり、全額県負担とする。</p>
補助効果	文化による共生・共創社会の推進が見込める。
終期の設定	令和12年度 (理由) 継続した取組みが必要であり5年間とする。

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

文化芸術活動に参加する県民の増加、新たな文化の創造を図ることにより、自律的な文化活動を確立させる。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R7)	R8年度 目標	R9年度 目標	R10年度 目標	終期目標 (R12)	達成率
		定員の80%	定員の80%	定員の80%		
各事業の観覧者数		定員の80%	定員の80%	定員の80%	定員の80%	-%
各事業の観覧者アンケートによる満足度		90%	90%	90%	90%	-%

補助金交付実績 (単位:千円)	R4年度	R5年度	R6年度

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和5年度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和6年度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

(事業の評価)

(評価)	
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり（単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり） 2：期待どおりの成果あり（単年度目標100%達成） 1：期待どおりの成果が得られていない（単年度目標50～100%） 0：ほとんど成果が得られていない（単年度目標50%未満）	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 共生・共創社会の推進のためには、様々な文化公演・文化活動が一過性とならないよう、継続的に実施していくことが求められる。
--

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 継続的に事業を実施することにより、文化活動のすそ野が徐々に広がるため、継続が妥当と考える。
